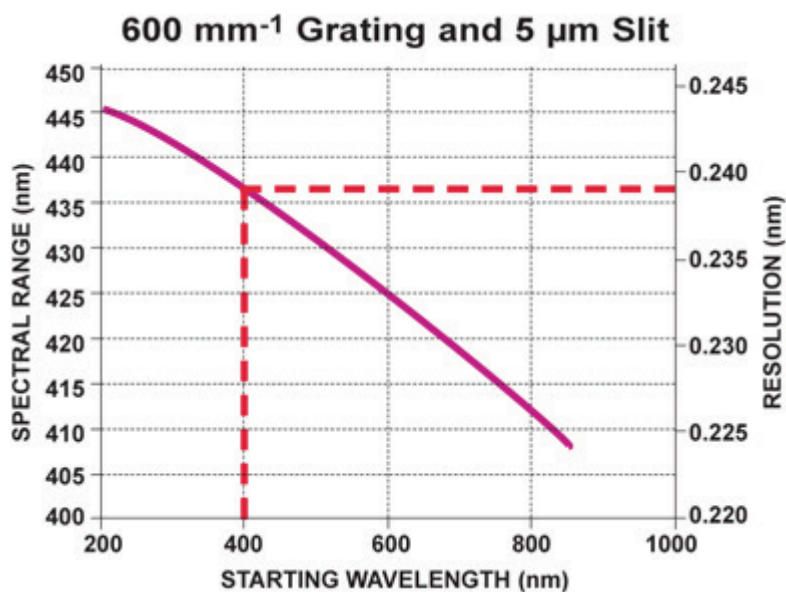


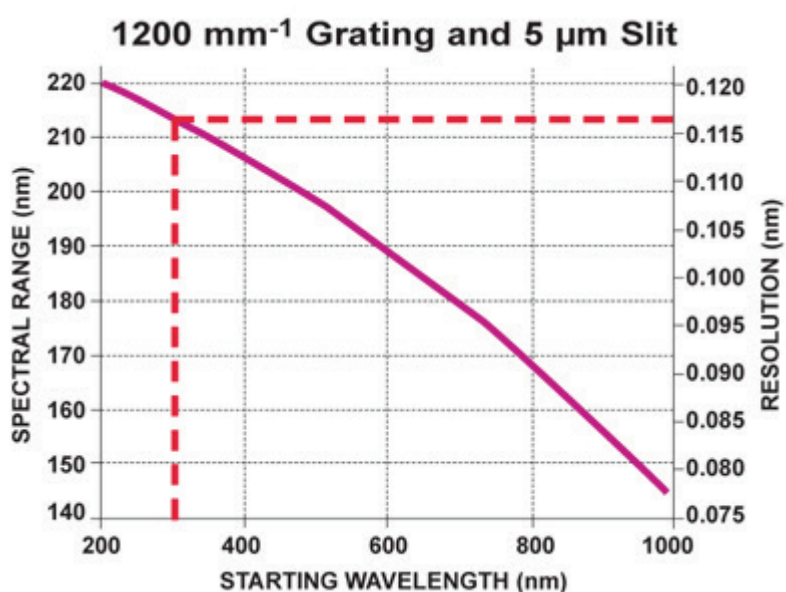
測定可能波長範囲および波長分解能(3)

(HR4000)

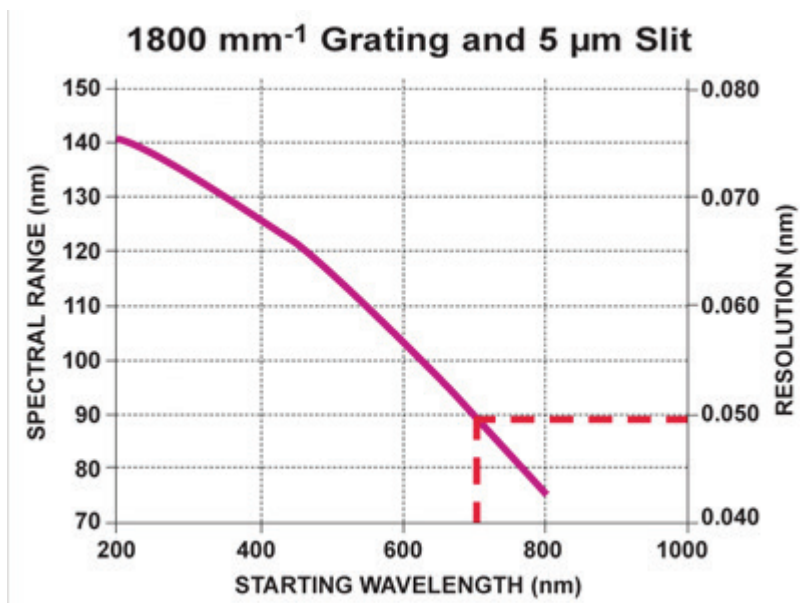
以下のグラフは、5 μm 入射スリットと各種グレーティングの組み合わせによる HR4000 分光器の測定可能波長範囲と波長分解能を示しています。



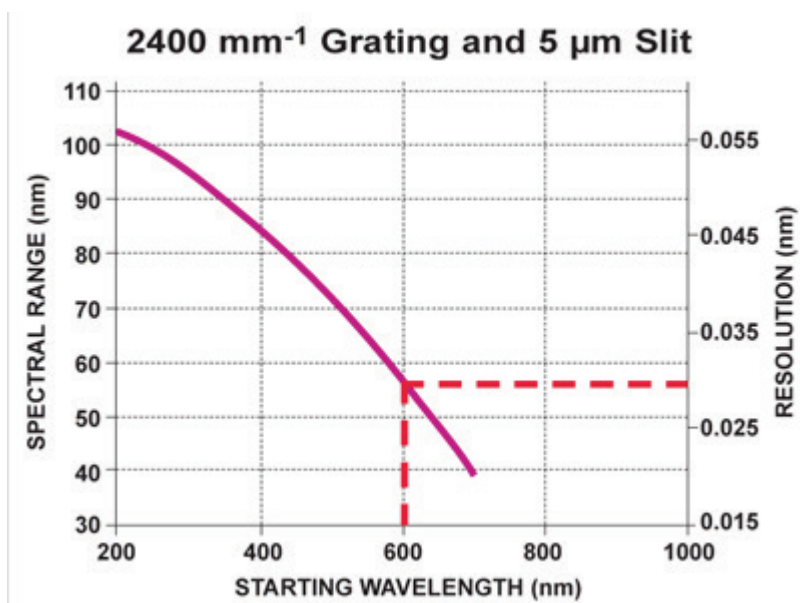
例：設定開始波長が 400 nm のとき、波長範囲は～437 nm (400～837 nm) となり、波長分解能は 0.239 nm となります。
刻線数 600Lines/mm のグレーティング；1、2、3、4、14 が対象となります。



例：設定開始波長が 300 nm のとき、波長範囲は～215 nm (300～ 515 nm) となり、波長分解能は 0.117 nm となります。
刻線数 1200 Lines/mm のグレーティング；5、6、9 が対象となります。



例：設定開始波長が 700 nm のとき、波長範囲は～90 nm（700～790 nm）となり、波長分解能は 0.05 nm となります。
刻線数 1800 Lines/mm のグレーティング；10、11 が対象となります。



例：設定開始波長が 600 nm のとき、波長範囲は～56 nm（600～656 nm）となり、波長分解能は 0.029 nm となります。
刻線数 2400 Lines/mm のグレーティング；7、12 が対象となります。